

# With

## ウィズ

～私たちが私たちがらしく暮らせる地域づくりを  
みんなですすめようという意味を込めています～

西宮市社会福祉協議会 共生のまちづくり課 生活支援コーディネーター

小藪（全市域・甲陽園）・高井（中央）・高田（鳴尾）・牧（瓦木）・中川（甲東・山口）・北山（塩瀬）  
※山口地域と塩瀬地域は生活支援コーディネーターと地区担当者を兼務（北山は地域福祉課所属）

〒662-0857 西宮市中前田町1-23 地域共生館ふれぼの内

TEL(0798)61-1361 FAX (0798)61-1409 kyoseimachi@n-shakyo.jp

### 生活支援コーディネーター かつどうトピックス

#### ウィズコロナ“オンライン交流会”

緊急事態宣言が明けて、市内5ヵ所ある共生型地域交流拠点も感染拡大予防を徹底しながら再開はじめています。皆さん、「本当に再開していいのか」「どのような事に注意したらいいのか」等、不安や迷いを感じておられます。そこで、他の拠点の話聞いてみようということになり、オンラインを活用した交流会を実施することになりました。

迷いや不安の共有だけでなく、「テーブルに手作りのシールドを置いている」「お便りを通じてつながりを切らないようにしている」「コロナに負けない応援メッセージを募って掲示をしていた」等、コロナ禍における工夫についての情報交換もできました。

できれば直接会ってお話したいですが、ウィズコロナの取り組みとしてオンラインを活用していくのも一つの方法だと感じました。



オンライン交流会の様子



### 生活支援コーディネーター訪問記 “ええもん めっけ”

#### 学生と一緒にコロナを乗り越える 学生応援プロジェクト

今回はコープこうべと協働し、市内大学生とともにやっている「学生応援プロジェクト」の取り組みを紹介します。このプロジェクトは大学生が主体となり、コロナを乗り越え、地域全体が元気になることを目指し進めている取り組みです。

全市・甲陽園生活支援Co・小藪

「大学生生活で本来得られたはずの経験が得られないことが1番不安」「親もコロナの影響を受けているので、お金の心配がある」「まだ入学して1度しかキャンパスに行ったことがない」…7月に大学の寮生へ聞き取りに行くと学生の悲痛な声が聞かれました。そんな中「今、自分たちにできることは何だろう」と学生とともに話し合い、コープこうべの協力を得て、学生応援プロジェクトを立ち上げました。学生自身がアイデアを出しながら、将来は「自分たちも地域に貢献できるように☆」そんな未来の地域づくりを目指した夢いっぱい活動です！

#### 現在進めている取り組みは？

コープこうべより提供頂いた食材を活用し、コロナウイルスの影響によりアルバイトが減るなど困っている学生への「食材提供会」を企画しています。まずは10月、関西学院大学の学生を対象に実施予定です。

また地域と学生がお互いを知るきっかけとして、市内つどい場主宰者の方が「学生でも簡単に作れるレシピ」を考案中です。

学生のみなさん、お楽しみに☆





共生型地域交流拠点

# はま Café マリナふらっと(西宮浜)

場 所：西宮浜4丁目 14-3

開設日時：月・水・土 10時-16時 (10月現在)

前編

共 生 の ま ち づ くり 実 践

市内で取り組みがすすんでいる「共生型地域交流拠点」についてシリーズで各拠点の様子を紹介しています。



2020年7月1日、「まちで暮らすみんながいくつになってもいきいきと、笑って過ごせるように」という住民の想いがつまった交流拠点が誕生しました。

2年の準備期間の中でさまざまな人が出会い、住民の想いがカタチとなってできた拠点は、これからたくさんのワクワクが生まれる予感がします！

今回は、そんなふらっとが「できるまで」に大切にしていた思いを拠点運営者に語っていただきました！

### <西宮浜地域について>

阪神淡路大震災の復興住宅として9つのまちで構成されています。市内で唯一、地区社協組織がなく、ボランティアグループによる昼食会や子育てサロンなどが実施されています。子育て世代の転出などによる少子化が進む中、今年度小中一貫の義務教育学校が開校しました。



## 拠点運営者にインタビュー

### ふらっとができるまで ~みんなの想いで地域に拠点を~

2018年8月	2019年4月	2019年7月	2019年8月
交流拠点づくりに向けた話し合いスタート	西宮浜さくらまつりで1日限定コミュニティカフェを開催	管理組合や自治会の役員会で居場所づくりについて説明	拠点立ち上げに向けて住民と地域内の福祉施設で準備会を設立

### その①

#### まちの活気を取り戻したい！

街開きから20年、少子化が進行し、飲食店の閉店も目立っています。また、公園のベンチに寂しそうに一人で座るお年寄りの姿を見かけることも増えました。

昔のようにまちの活気を取り戻したい！と思い、誰もがつどえる場の開設を目指し話し合いをスタートさせました。

### その②

#### みんなに知ってほしい、まち全体を巻き込みたい！

これからできる拠点についてより多くの住民に知ってもらおうと、役員会や地域活動を訪問し、思いを伝え、同じように地域で活動している方の声に耳を傾けました。

また、地域みんなで作る拠点を目指してこれから一緒に活動してくれる仲間を探すために、地域住民に呼びかけて講座『まちづくり楽校』を実施しました。



まちづくり楽校の様子

### その③

#### みんなで乗り越える！集わなくてもつながる思い

コロナによる緊急事態宣言が発令され目指していた4月オープンを断念。

そんな中、地域のために何かできないかと、応援メッセージを募集し掲示していました。『オープンが待ち遠しい』『こんな時こそみんな笑顔で心をついに』と互いに励まし合うメッセージに、みんなが勇気づけられました。オープンは7月に延期となりましたが、集まらなくても思いを伝え合うことで心がつながることを実感しました。



ボランティアミーティングの様子



コロナに負けない応援メッセージ

2019年9月	2019年10月	2020年1月	2020年3月	2020年7月
講座『まちづくり楽校』の開催 ボランティア募集	ボランティアミーティングを定期実施	空き店舗を改修工事	ボランティアさんとオープン準備 応援メッセージ募集	コロナ対策をして晴れてオープン

「共生型地域交流拠点」は生活支援コーディネーターが立ち上げや運営のサポートをしています。お気軽にご相談ください♪